

COVID-19 対応について 2

— 清潔・安全な院内環境です —

川崎市立川崎病院 ご利用の皆様へ

新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の感染拡大が一段落してまいりました。

4月末に、当院の簡単な COVID-19 対応の経過の説明に合わせて、来院者トリアージとつつじ外来、そして手術縮小の説明をさせていただきました。この間、川崎市での新規 COVID-19 の発生は限定的となり、5月末には政府による緊急事態宣言も解除となり、当院の入院患者さんも6月初めに全員退院となりました。2月のクルーズ船の受け入れから、4ヶ月以上の間、診療に取り組んでまいりましたが、幸い院内感染など不測の事態を起こすことなく対応できました。これも、市民の皆さんのご理解とご協力あってのことです。誠にありがとうございました。

そして、これに伴い、診療体制を変更いたしましたのでお知らせいたします。

1) 救命救急病棟は本来の業務に復帰しております。

重症の患者さんの受け入れ機能が強化されます。

2) 手術の制限は解除いたしました。

良性疾患や外来の手術を再開いたしました。内視鏡検査も再開いたしました。

3) 院内で COVID-19 拡散増幅検査(LAMP 法)を行えるようにしました。

PCR と同等の検査ですが、より早く結果が出ます。

術前検査など保険診療の中で行いますが、自費診療でもできるようにいたします。

4) 来院者トリアージ、つつじ外来、面会禁止、FAX 処方 は現状維持します。

COVID-19 に対する対応は、これで終了したわけではありません。クラスターの発生や第2波に備えることも必要です。当院でも、体制は変更しますが、いつでもギアチェンジできるようにしています。その時は、市民のみなさんからのご協力も期待しております。

最後になりますが、院内診療環境は清潔で安全です。侵襲的治療を予定されている方を始め、当院での診療を希望される方は、衛生面でのご懸念なきよう安心して当院を受診してください。感染症対応に真正面から取り組む病院は、感染管理スキルが高く、イメージとは逆に衛生的な病院だということをご理解いただきたいと思います。川病は逃げない。

2020.6.16.

川崎市立川崎病院 病院長 金井歳雄